

「浜松観光ボランティアガイド養成講座」(後編)

平成30年度の「浜松観光ボランティアガイド養成講座」の後半が、2月4日、11日、18日と3回に渡って行われました。以下に概要を報告します。講師は研修部の皆さんでした。

第4回目は、最初に「浜松時代の家康の戦」について杉本忠久さんから配布資料に基づき、プロジェクターも利用して姉川の戦い、三方原の戦い、長篠・設楽原の戦い、高天神城の攻防戦、小牧・長久手の戦いについての説明があり、特に、三方原の戦いが重要であると強調されました。

続いて「家康について」を研修部長の鈴木利雄さんが、家康の出生から死去に至るまでとその時代の略歴、家康の体格・性格等、浜松城の構築概要、家康に係る女性(正室、継室、側室)について説明されました。

第5回目は、「家康の散歩道」について、パンフレットとプロジェクターを利用して、前半は桶田忠正さんから、秀忠誕生の井戸から天林寺の説明を追加して浜松城までを、後半は川上英三花さんから奥山線廃線跡の説明を加えて、犀ヶ崖から太刀洗の池までの説明がありました。

続いて、「犀ヶ崖資料館」について益田啓子さんから、史跡「犀ヶ崖」、犀ヶ崖の名前のいわれ、埋め立てた歴史、公園内の碑などが説明されました。



基礎講座「家康の散歩道」の説明

第6回目は「浜松あれこれ」について前半は伊藤道代さんが浜松市及び浜松の日本一について説明し、「四季折々が素晴らしい浜松を皆さんと一緒にガイドしたい」と呼びかけ、後半は鈴木延夫さんによる日本初の工業・文化人についての説明でした。

最後に大村会長から「ガイドは人のためにやるのではなく、自分が楽しむためにやるのだ。浜松を知



大村会長(前列中央)と8名の講座修了生の皆さん

るだけではなく、好きになっていただきたい。そうすればより楽しいガイドができるでしょう」と励ましの言葉がありました。

続いて法被・帽子の採寸を行い、大村会長を交えて記念写真撮影の後、各ブロックに別れて受け入れの説明会を実施して、すべてが終了しました。

受講生からは次のような感想がありました。

第4回目:前半の講座は分かり易くて良かった。後 半の講座は側室の話より家康の子供の話が多い方 が良かった。

第5回目: 勉強になった。これまで行ったことのない場所は、この説明だけではスッと入らなかった。 実地研修を期待している。

第6日目:日本一など知らないことが多くて、参考になった。改めて浜松の良さが分かった。

全体として:わくわくして講義を聞いた。詳しい資料があって良かった。知らなかったことを知ることができて良かった。浜松城は詳しい説明があったが、蜆塚遺跡の説明があってもよかった。

約一ヶ月間、6回に渡り受講生、研修部員、関係者の皆様お疲れ様でした。

広報部 佐原正敏 (中ブロック)

事業部主催「富士山の日記念ウォーク」

「富士山の日記念ウォーク」が2月24日に午前9時から実施されました。

この日の浜松の気象は、薄曇り、ほぼ無風でウォーク日和になりました。参加者は、一般の方が76 名、ガイドの会会員が23名で計99名でした。

事業部長田村勇次さんの挨拶の後、一般参加者 10 名を単位として、1 組目から順次「せせらぎの池」横を出発しました。筆者は会員鈴井あや子さん引率の2 組目に入りスタートしました。

最初に訪れたのは「浜松城富士見櫓跡」。この日富士山は 見えませんでしたが、鈴井さんからの「ここは浜松城の石垣 と天守を写す場合のベストボジション」の説明に一同納得。 また、家康公の像の辺りで、改めて野面積みの石垣を見た 面々から期せずして出た言葉は「こんな大きな石を運んでき た昔の人の知恵はすごい」でした。



ガイドの案内で1組目の出発



五社神社鳥居脇の河津桜

「心造寺」の山門をくぐったスロープでは見事な紅梅が私達を迎えてくれました。紺屋町を通過する時、参加者から「この辺りに中島鉄砲店があった」と教えてもらいました。

「五社神社・諏訪神社」では鳥居脇の満開の河津桜がお出迎え。「焼 失前の『お江戸勝りの五社や諏訪』を見たかった」の声が出ました。

「浜松復興記念館」では、砲弾、炭アイロン、古いお札、焼け野原の市街の写真等を見て、皆で幼少の頃の思い出話を交換しました。

鍛冶衆ゆかりの「金山神社」では、鍛冶町、利町、紺屋町、 大工町,旅籠町等の今に残る町 名のことが話題になりました。 「浜松市鴨江アートセンタ



復興記念館内 実物大焼夷弾パネル

一(旧浜松警察署庁舎)」では、丁度アーティストの発表会 開催中で、「20分の時間をとっても、もう少し時間が欲しい」 という声が出ました。

ここで参加者の要望もあり、急遽「木下惠介記念館」に立ち寄りました。入口のステンドグラスには旧銀行協会の建屋の面影が残っていました。

「鴨江寺」では、昔の参詣道出店の賑やかさや、閉鎖中の「東門」談義に花が咲きました。 最後の「浜松城屛風折れの石垣」では、堀尾吉晴の築城技術に感心し、又、石垣がしっかり見られる



浜松城屏風折れ石垣

<終わりに>

鈴井さんの名解説と参加者の熱心な見学でアッという間に終わった2時間半、11,000歩の「記念ウォーク」でした。最後に参加者の感想を少しご紹介します。①ガイドしてもらっても忘れてしまうことが多いが、皆さんと話しながら歩けてとても楽しかった。②普段は車で通り過ぎる所にも、歴史遺産があることを改めて認識した。③松菱デパートの周りにバラック建ての家があった頃を知っているが、浜松の街は変貌した。

ように木を切ってくれた浜松市に評価の声が上がりました。

中ブロック 小池孝幸

会員の交流広場

100 名城を訪ねて…6年がかりで達成!

若い頃から寺社仏閣・温泉(秘湯も)など渋い旅が好きで、ガイドになり、「城めぐり」が加わった。ガイド2年目、今ほど有名でなかった"天空の城"竹田城へ雲海が出やすい2011年12月に訪れた。麓の宿に泊まり、翌朝まだ暗い6時頃、懐中電灯を頼りに駅裏登山口から登り始め、息切れしながら50分。標高354mの山頂に到着した時は身体の火照りで真冬の寒さも感じなかった。

見事な総石垣、壮大な絶景、幸運にも雲海に包まれ、竹田城はまさしく天空の城であった。そこへ昇ってきた朝日が奇跡の「ブロッケン現象」をもたらした。山で厳しい修行中にこの光を見た修験者たちは「阿弥陀如来が姿を現わした」と悟りを開いたという。神々しく神秘的な光景に言葉を失ってしまった感動が、おそらく「城と石垣の魅力」に目覚めていく変化となったのではないかと思う。

2012年12月11日、愛媛県の**今治城**を訪ねた。瀬戸内海に面し、築城名人・藤堂髙虎により海水を引き込んだ堀には鯛など海の魚たちが泳ぐ。ここで「日本100名城公式ガイドブック」を購入。 名城スタンプラリーの「1城目」が今治城からスタートした。

2017年11月、**千早城**(ちはやじょう)で82城目。残る18城は沖縄、九州、北海道と遠方ばかりだ。相当に悩んだ末、2018年元旦、「今年中に100名城達成する!」と新年の目標を掲げた。

2018年2月28日、初めての沖縄へ3泊4日の旅。飛行機から見る海は極上の沖縄ブルー、珊瑚礁が島を縁どる。那覇のホテルに3連泊して、バスで 中城城(なかぐすくじょう)・今帰仁城(なきじんじょう)・首里城(しゅりじょう)の名城を訪ねる。3城とも海が見渡せ、石積みの城壁は本土の石垣とは違う趣で、波のように曲線を描いている。今帰仁城は海抜100m。城への道は勾配がきつかった。日本一早く咲く「寒緋桜」が名残惜しげにまだ咲いていて、鮮やかな緋色に癒された。

2018年4月18日、九州名城13城中、残る11城へ5泊6日の旅。ハイペースである。

福岡城では2017年に西ブロックを退会されたN女史と1年ぶりに再会し、案内してもらった。

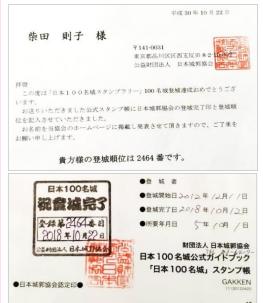
熊本城は熊本地震(2016年4月・震度7)からほぼ2年。多くの立入禁止区域、崩れた高石垣、流れ出た裏込石の量などにも大城郭の貫禄を感じ、櫓の重みを必死に支える「奇跡の一本石垣」に「がんばって!」と応援する。地元のおじさんが話しかけてきた。日々、熊本城の復旧を見守っているのだ。

2018年9月3日、いよいよ「100名城達成!」を実現すべく、 残る北海道・東北4城めぐりの旅。

根室市観光インフォメーションセンターで**根室半島チャシ跡群** のスタンプを押して 97 城目。センターでは 97 城以上の登城者に 記念幕を持った記念写真を撮ってくれる。【右の写真】

函館へ行く途中の帯広で「北海道胆振(いぶり)地震」に遭遇した。 9月6日3:08発生、18分後に「北海道全域停電」となったのだ。 ようやく電気が復旧した日の夜、息子から帯広⇒羽田便に最後の 一席が残っていると連絡が入った。即予約、確保。翌朝、帯広空港 を離陸。被災4連泊で萎えた心が羽田に着いたら元気になった。





行けなかった3城をどうしようか、北国の冬はもう間近。 決断して1ヵ月後の10月10日、4泊5日の3城めぐり旅。 98城目の**松前城**は最後の和式城郭、99城目の**五稜郭**は最初の 洋式城郭。2城とも幕末の築城で、戊辰戦争最後の戦い・箱館 戦争の舞台となった。100名城達成まであと一城!

函館から津軽海峡をフェリーで青森へ。青森から鉄道で八戸へ。バスで到着した根城(ねじょう)にて2018年10月12日、100城目を達成! 思っていたより心静かな瞬間であった。

博物館受付・根城広場スタッフから「おめでとうございます」。 女性スタッフが「何もないのですが…」と言いつつも、根城の ボールペンを下さった。根城は城柵にも高級材の「青森ヒバ」 を何気に使った復原で、地産地消そのものである。

6年がかりの「100名城達成!」。深くて広い日本を知る。 自分へのご褒美に源泉かけ流しの鳴子温泉でまったりした。

後日、日本城郭協会へ送ったスタンプ帳の"100名城登城順位 2464番"が心に沁みてきた。 西ブロック 柴田則子

▶お知らせ その1◆



平成31年度定期総会開催

平成 31 年度の定期総会を下記のとおり開催します。 開催日時:平成31年4月15日(月)10:00~12:00

開催場所:ホテルコンコルド浜松 2F銀木犀

司 会:大見美保子(西ブロック)

その他:総会開催中は法被および名札着用のこと。

写真は昨年度の総会風景 (大村会長あいさつ)

広報部 小池輝夫 (東ブロック)

◆お知らせ その2◆

「はままつ案内人会報」投稿状況

2018年度(2018年4月号~2019年3月号)1年間における、会報掲載記事のブロック別投稿状況 は、下表のとおりとなりました。ご協力大変ありがとうございました。

2019 年度も会員みなさまの投稿をお待ちしております。 広報部長 小池輝夫 (東ブロック)

広報部員投稿		会 員 投 稿		計	
ブロック	延人数	ブロック	延人数	θĺ	
東	14人	東	7人	21人	
西	2人	西	8人	10人	
南	7人	南	1人	8人	
北	7人	北	5人	12人	
中	11人	中	8人	19人	

2月のガイド活動 ≪明るく楽しくやらまいか≫

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、 この3箇所の他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各 種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

//	近	枞	城≫
//	/==	74	*****. //

複数回来場のあった団体								
* クラブツーリズム㈱東京			ブツーリズム㈱東京	3回	78名			
	* -	サンク	「イツアーズ清水	2回	68名			
	2日	土	スズキ歩こう会		32名			
	15日	金	中部小学校		25名			
	16日	土	大和ハウス工業㈱		35名			
	18日	月	伊佐見幼稚園		30名			
	23 日	土	上砥堀自治会		25名			
	27日	水	信安旅行 (台湾)		28名			

28日 木 小牧自然爱好会 49名 28名 与進幼稚園

上記以外に24名以下の11団体 143名

≪犀ヶ崖資料館≫

10日 日 クラブツーリズム 20名

≪浜松まつり会館≫

7日 木 八王子シニアクラブ連合会 41名 12日 火 全日農井手町支部 31名 日曜対応(3、10、17、24日) 703名

はままつ案内人会報 204号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会 **〒430-0946**

浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内) TEL&FAX 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人





出世大名家康くん

出世法師 直虎ちゃん